

平成25年度小・中学校理科教育ステップUP!プラン事業

「小学校理科校内研修支援事業」

実施報告

室蘭市立海陽小学校

*学級数 18 *児童数 536

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道室蘭栄高等学校	教諭	廣原 誠	生物

【本事業のねらい】

小学校第4学年「人の体のつくりと運動」の単元において、「ヒトが体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによること」について、児童が観察・実験などの具体的な体験を通して理解ができるようにするための、教員の指導力の向上を目的に実施した。

【実施内容】

11月20日 15:15~16:00、海陽小学校理科室において、8名の教員を対象に、小学校第4学年「人の体のつくりと運動」の単元目標と学習内容、指導上の留意事項を確認した後、ニワトリの手羽先の解剖、みかんネットを用いた筋肉モデルの作成を行った。



【本事業での主な児童の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・人の腕の模型を作って、骨に筋肉がどうやって付いているのかがよくわかりました。
- ・関節を曲げると、ネットが膨らんだり縮んだりして、筋肉が動いていることがわかりました。
- ・最初ネットで作った筋肉を骨に付ける場所がわからなかったけれど、調べて付けるとすごく似ていて、実際の腕の骨と筋肉の配置がよくわかりました。
- ・鳥の生肉の関節を動かしてみたり、筋肉をさわったりして、鳥にも人と同じようにしっかりとした骨と筋肉があることが目でしっかり見ることができてよかったです。
- ・ニワトリの骨にくっついている腱につながった筋肉を引っ張ると、羽が動いてとてもびっくりしました。
- ・ニワトリにもちゃんとした筋肉があって「たくましいんだな」と思いました。

【来年度以降の実施に向けて】

今後は、より多くの学年や単元の内容を研修できるように、支援員と連携をとりながら計画を立てていきたい。